

用語の説明

社会福祉施設（しゃかいふくししせつ）

社会福祉法に基づく社会福祉事業を営むために設置する施設をいう。

これには、生活保護法に基づく保護施設、老人福祉法に基づく老人福祉施設、障害者自立支援法に基づく障害者支援施設など、旧身体障害者福祉法に基づく身体障害者更生援護施設、旧知的障害者福祉法に基づく知的障害者援護施設、旧精神保健及び精神障害者福祉に関する法律に基づく精神障害者社会復帰施設、身体障害者福祉法に基づく身体障害者社会参加支援施設、売春防止法に基づく婦人保護施設、児童福祉法に基づく児童福祉施設、母子及び寡婦福祉法に基づく母子福祉施設、及びその他の福祉施設などがある。

現物給付・現金給付（げんぶつきゅうふ・げんきんきゅうふ）

現物給付とは、被保険者や被扶養者に現物（医療行為など）で行う保険給付のこと。

現金給付とは、被保険者や被扶養者に現金で給付を行う保険給付のこと。

介護保険（かいごほけん）→介護保険制度

従来の措置制度による行政が決定する福祉サービスから、高齢者自身の「選択」によるサービスが提供されるよう転換を図るものとして平成 12 年度に始まった高齢者介護システムであり、保健・医療・福祉のサービスを一体的、総合的に提供する制度。

要支援（ようしえん）→要支援者

身体または精神の障害のために、6 か月継続して日常生活の基本動作の全部または一部について介護を要する状態の軽減などに資する支援が必要な者をいい、その状態は2つに区分される。

要介護（ようかいご）→要介護者

身体または精神の障害のために、6 か月継続して日常生活の基本動作の全部または一部について常時介護を必要と見込まれる状態の者をいい、その状態は5つに区分される。

介護老人福祉施設（かいごろうじんふくししせつ）

老人福祉法に規定する特別養護老人ホーム（入所定員が30人以上。）で、かつ、介護保険法による都道府県知事の指定を受けた施設であって、入所する要介護者に対し、施設サービス計画に基づいて、入浴、排泄、食事などの介護その他の日常生活上の世話、機能訓練、健康管理及び療養上の世話を行うことを目的とする施設。

介護老人保健施設（かいごろうじんほけんしせつ）

介護保険法による都道府県知事の開設許可を受けた施設であって、入所する要介護者に対し、施設サービス計画に基づいて、看護、医学的管理の下における介護及び機能訓練その他必要な医療並びに日常生活の世話を行うことを目的とする施設。

介護療養型医療施設（かいごりょうようがたいりょうしせつ）

医療法に規定する医療施設で、かつ、介護保険法による都道府県知事の指定を受けた施設であり、入院する要介護者に対し、施設サービス計画に基づいて、療養上の管理、看護、医学的管理の下における介護その他の世話及び機能訓練その他の必要な医療を行うことを目的とする施設。

後期高齢者医療制度（こうきこうれいしゃいりょうせいど）

老人医療費を中心に医療費が増大する中、現役世代と高齢者世代の負担を明確化し、公平で分かりやすい制度とするために、平成 20 年 4 月に 75 歳以上の高齢者を対象として始まった制度。長寿医療制度ともいう。